

知っていますか？

7月28日は、世界（日本）肝炎デーです。

7月28日は、ウィルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消、感染予防の推進を目的とする「世界（日本）肝炎デー」です。

7月28日を含む一週間（7月25日から31日まで）は「肝臓週間」です。東京都では、「世界（日本）肝炎デー」に合わせて、都民の皆様に、ウィルス性肝炎の早期発見・早期治療の大切さを呼びかけます。



「kanzou-kun」は東京都肝炎ウイルス検診事業のキャラクターです。

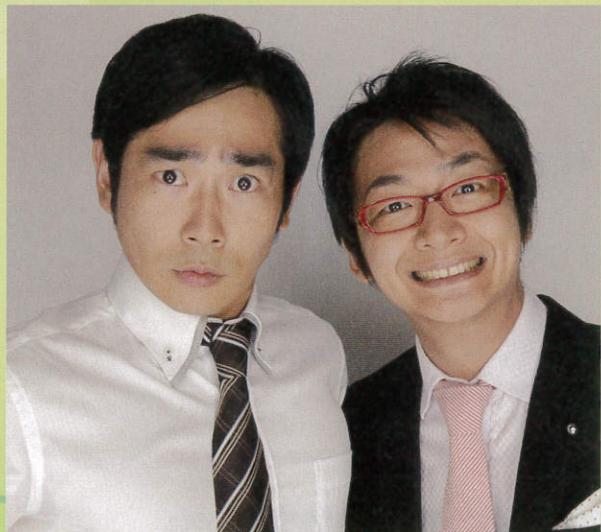
ウィルス性肝炎早期発見・治療キャンペーン

肝炎丈々策普及啓発イベント

日時 2016年7月31日（日）ステージ14:00～15:00

会場 新宿ステーションスクエア（新宿アルタ前広場・新宿駅東口出てすぐ）

ステージ 肝炎デー特別ステージ



●スペシャルトークショー 「肝炎のこと知っていますか？」

- / 肝臓専門医 板倉潤先生
(武藏野赤十字病院 消化器科 副部長)
/ ハマカーン（お笑い芸人）

●スペシャルイベント！ 「ハマカーンお笑いステージ」

展示ブース 協力団体による啓発活動

主催 東京都福祉保健局

協力 新宿区、武藏野赤十字病院、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、特定非営利活動法人東京肝臓友の会
アッヴィ合同会社、MSD 株式会社、ギリアド・サイエンシズ株式会社



Check!肝臓

安心のために、早期発見・早期治療が肝心です。

肝炎ウイルスとは？

- 全国のがんによる死者のうち、肝臓がんは第5位です。原因の約8割をB型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスが占めており、約40人に1人が肝炎ウイルスに感染していると言われています。
- B型・C型肝炎ウイルスに感染していても、**自覚症状はほとんどありません**。気づかないうちにウイルスによる肝臓の炎症が進み、慢性肝炎となり、肝硬変や肝がんに**進行する場合**があります。
- 健康診断の一般的な検査項目AST、ALT、r-GTなどでは、肝炎ウイルスに感染しているかどうかは分かりません。

肝炎ウイルスの感染

- 肝炎ウイルスの感染は**血液・体液**により起こります。母子感染や性感染など自分では意識しにくい感染経路もあり、感染不明な方も多いです。
- 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加しています。
- 握手や咳、抱き合う、食器の共有など通常の社会生活では感染しません。

肝炎ウイルスの検査・治療

- 検査方法は簡単な採血のみのため、**短時間**で済みます。検査はお住まいの区市町村で受けることが出来ます。
- ウイルス性肝炎は、早期発見により、重症化する前に治療が可能です。治療の際には東京都の医療費助成制度を利用することも出来ます。
- 感染が分かったとしても、新しい治療法も承認されているため、早期の受診・治療によって、ウイルスの排除や肝臓がんへの進行を防ぐことが期待できるようになりました。

必ず一度は検査を！

肝炎ウイルス検診を受けましょう

検索

お問い合わせ先

肝炎ウイルス検査について

東京都福祉保健局保健政策部健康推進課 03-5320-4363

治療や医療費助成について

東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課 03-5320-4471